



本学の概要

- ・我が国で唯一の聴覚・視覚障害者のための高等教育機関。
- ・開学以来、社会的自立や社会貢献出来る人材育成を目的とした教育・支援を実施。

本学習プログラムの概要及び成果

1. 学校卒業後の青年期障害者のキャリア発達

- ・障害者が就労上の課題となっているスキルアップやキャリアアップに資する学習プログラム（学び直しプログラム）を開発。
- 社会人向け学び直し講座**の開催（本学内で実施）
建築・情報関係の講座の開催
参加者数：建築系1講座 10日間計10名
情報系3講座 6日間計10名
- 出張講座**の開催（東京都内で実施、2月も開催予定）
参加者数：情報関係1講座 5日間計16名
- スキルアップ講座開催マニュアル作成**
情報保障の充実した講座開催手法の説明書

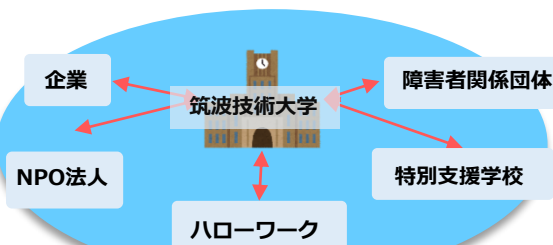
2. 多様な年齢層の障害者、健常者が参加するスポーツを通じた生涯学習支援

- ・多様な年齢層、障害種の障害者と健常者が参加するスポーツ教室、イベントを実施し、障害者の主体的な社会活動の意欲を向上させるための学習プログラムを開発。
- 障害者スポーツ教室**（月1回）の開催
参加者数：延べ424名（1月末現在）
- 障害者のためのスポーツイベント**（年1回）の開催
参加者数：165名
- 障害者対象の体力測定**の実施
参加者数：23名
- 障害者アスリートによる講演会**の開催
参加者数：25名

3. 共生社会環境醸成のためのワークショップ

- ・健常者と障害者が共同して働きやすい職場環境構築に資するワークショップを開催し、協働環境向上マニュアルやコンテンツを開発。
- 文献調査**の実施
聴覚障害のある社員自身による職場改善およびキャリアアップ取組事例の収集
- 意見交換会**の開催（東京都内）
企業等に就職する本学卒業生17名参加
- ワークショップ開催マニュアル**の作成
聴覚障害社員自身が職場改善とキャリアアップに主体的に取り組む方法を考えるWS開催手法

連携協議会等の実施、コーディネーターの配置



- ・連携協議会の実施により、障害者の職場定着に資する円滑な移行支援や、学校卒業後の学びに関する実態把握やノウハウを共有。
- ・障害者雇用に関するコーディネーターを配置し、障害者雇用の課題を抽出すると共に、解決のための方策を提示。
- ・産学官連携シンポジウムの実施（約50名参加）により、障害者雇用に関する好事例の発表や意見交換を実施し、理解啓発を促進。

成果・効果

- ・障害者自身が主体的にキャリアプランニングするための知識・技術を育成
- ・社会生活で必須となる障害啓発力の向上
- ・生涯学習を通じた共生社会の環境を醸成
- ・障害者のスポーツ・レクリエーション活動を通じた主体的な社会活動参加や生涯学習への参加促進および意欲を喚起

